

全国へ届け！田原市産花きの魅力

今回は、コロナ禍で行った本市の花のPRをご紹介します。

本市は言わずと知れた日本一の花の産地で、菊を中心に多くの種類の切り花、鉢花を栽培しています。日本一の花の産地をPRしようと、市内だけでなく首都圏でも行いました。

◆市内公共施設を色鮮やかに

コロナ禍で需要が落ちた花の活用促進として、5月～6月に市役所・保育園・小学校・道の駅などで、花の展示を行いました。

これは愛知県が実施した花のPR事業で、花き生産者から毎週色とりどりの花が届き、市内のいたるところに飾られました。

市役所や、道の駅を訪れた方々は、足を止めて花に見入っていました。



●飾られた花を見て楽しむ園児



●市役所のロビーに飾られた花

◆有名ホテルのサービスとして

6月には、横浜市にあるホテル「ヨコハマグランドインターコンチネンタルホテル」で、バラを用いたPRイベントを行いました。

これは「コロナウイルスの影響を受けた花の生産者さんを少しでも助けたい」とホテル側から声を掛けてもらい実現したものです。その思いに感謝しつつ、PRを行いました。花は、ホテルのロビーに飾ったり、宿泊客に配られたり、とても好評だったようです。



●ロビーに飾られたバラの花



●宿泊客に配られた花束

◆ユーチューバーとコラボレーション

本市出身の成蹊大学准教授 浜松翔平氏が学生と実施している田原市産花きのPRプロジェクトの一環で、国内外に約100万人のフォロワーをもつユーチューバー「さんこいち」さんのコラボ動画を作成しました。

本市の花農家の協力で、約1000本の花を使ってドッキリを仕掛ける内容です。ぜひご覧ください。



▲動画はこちら

今月の花

10月の

渥美半島の花と鉢花

バラ

(花 / 出荷時期: 通年)

花ことば

美・愛情

美しい花と香りが魅力的で、世界中で愛される花。出荷量は、県内3位で約590万本出荷されています。



花

ヘデラ

(鉢花 / 出荷時期: 通年)

花ことば

永遠の愛、友情

アイビーの名で親しまれる観葉植物。育てやすくインテリアとしても人気。年間約16万鉢出荷されています。



鉢